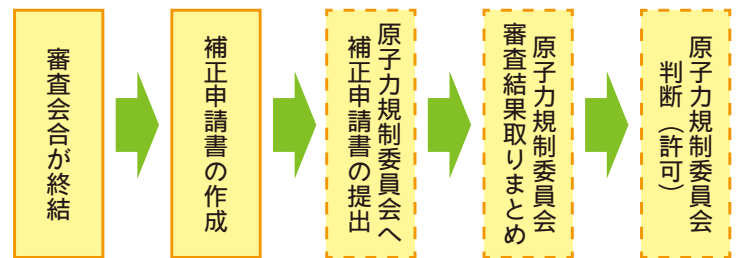


新規制基準への適合性審査の状況

○ 「事業変更許可」の審査会合が終了しました

- 「事業変更許可」の審査については、2014年1月から行われてきましたが、2月に開催された原子力規制委員会の審査会合において、その内容について、概ね了承されました。
- これにより、3月末を目標に事業変更許可申請書の補正申請書を作成し、原子力規制委員会への申請を行ってまいります。

【事業変更許可の取得までの流れ】



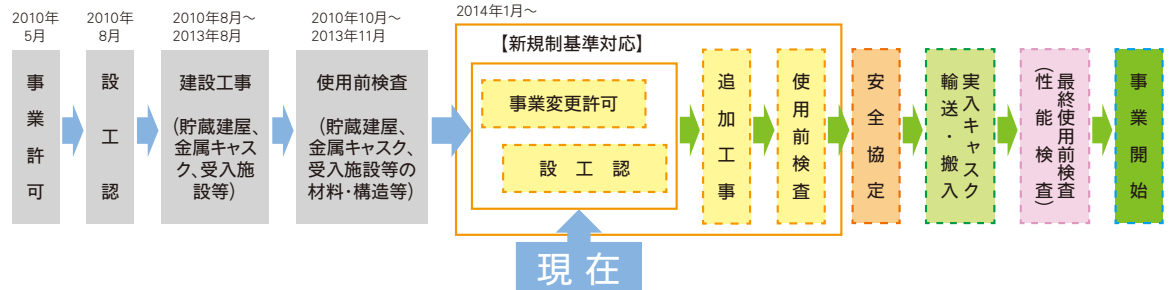
今後も、当社事業の根幹である「事業変更許可」の取得に向けて全力で取り組んでまいります。

【審査状況についての当社HP】

URL <http://www.rfsc.co.jp/news/news/index.html>



【事業開始までの流れ】



～RFSの現場から～

前号に引き続き、金属キャスク（以下、キャスク）の取扱い訓練をご紹介します。

キャスクは、専用のトレーラーで貯蔵建屋、受入れエリアに運び込み、天井クレーンで吊り上げや立ておこしを行い、貯蔵架台に据え付けた後は、搬送台車を使って建屋内を移送し、検査後、貯蔵エリアに移送します。

今回は、模擬キャスク（形、重さが実際のキャスクと同じ）を活用し、立ておこしたキャスクを台座である貯蔵架台に据え付け後、搬送台車と呼ばれる駆動源に空気をを用いるフォークリフトで、検査架台まで移送する訓練の様子です。

搬送台車での移送訓練

キャスクを貯蔵架台に据え付け後、周辺を確認しながら移送しました。人が歩くよりも遅い速度。(10m/分)



検査架台への設置訓練

検査架台への移送が完了後、監視用計器（圧力・温度）の取り付けを行いました。



搬送台車

重さ約120トンのキャスクを圧縮空気で浮上させます。



検査架台

監視用計器の取り付け、貯蔵前の検査を行います。



保全G 竹内 英明

～取り組んだ社員から～

搬送台車を操作して、キャスクを検査架台へ設置するには、貯蔵架台を床面に固定するボルト穴へアクセスするための繊細な操作技術が必要となります。

また、確実に設置するためには、搬送台車を運転する際の操作者と作業指揮者の声掛けや安全確認などの連携も重要です。

今後も事業開始に向けて、取扱い訓練を確実にやり、安全第一で作業を行います。

EVENT

いろいろなイベントに協賛、参加しています。



イベントについては
こちらQRコード

1/25㊥ 奥内歌舞伎 第23回新春公演



演目 浜松屋



向かって右側が「鬼人お松」役の当社社員の立花歩 演目 笠松峠

奥内歌舞伎保存会による第23回新春公演が、奥内小学校で開催されました。

演目「笠松峠」に、当社社員（保全G・立花歩）も「鬼人お松」役で出演しました。

独特な雰囲気や熱の入った演技に来場者も見入っていました。

1/22㊥ 本間話(ほんきとーく)

まさかりプラザにて開催される本間話に参加しています。自分の読んだお勧めの本を15分に要約して参加者にお話をします。インプットとアウトプットをする力が鍛えられるので、本の読み方が変わったり、本の内容を忘れにくくなります。また、ほかの人がお話をする違うジャンルにも触れることで、教養の幅を広げることができるのでお勧めです！



参加者が交代でトーカー（話し手）になり、自分が読んだ本について、好きな部分や本から影響を受けたことなど、その本に対する思いが込められたお話を聞くことができます。仕事帰りの時間に、和気あいあいと楽しい場になっています。

地域交流G 宇佐美 龍二



本間話へのお問合せ・お申込み連絡先
本間話代表 井本 貴之さん 090-7937-1693
Facebookページ: <https://www.facebook.com/honkitalk>

1/25㊥ 食の祭典 第19回冬の下北半島



むつグランドホテルで食の祭典が開催されました。下北各地の食材や料理が出店され、大盛況でした。

2/13㊥ 認知症サポーター養成講座



むつ市地域包括支援センター桜木の能渡様、工藤様、津島様から認知症サポーター養成講座を講演していただきました！

これからも引き続き認知症の人の助けとなるように当社も微力ながら頑張っていきたいと思ひます。



下北ジオパーク探検記! 第6弾 (仏ヶ浦ジオサイト編)



下北ジオパークHPIはこちらのQRコード



フェイスブックはこちらのQRコード



仏ヶ浦の白緑色の凝灰岩は、グリーンタフと呼ばれ、約1500万年前に起きた海底火山噴火による噴出物からできています。雨水や波浪による侵食を受け、特徴的な形をしています。(右上奥:蓬萊山)



特徴的な形をした巨石には「如来(にょらい)の首」や「香爐岩(こうろいわ)」、「蓬萊山(ほうらいさん)」など、仏教や霊界を連想させる名前が付けられています。(写真左:如来の首、右:香爐岩)



仏ヶ浦では、津軽暖流に乗ってさまざまなものが漂着します。江戸時代に流れ着いたお地蔵様は、今でも地元の方々によって大切に祀られており、周辺の海流や地形・地質と関わり深い信仰が根付いています。

実物を近くで見ると、巨石の大きさに迫りがあり自然の雄大さを感じました。仏ヶ浦の起源を知ったり、岩の名前の由来に面白さを感じながら見る事ができました。1500万年という長い年月で築き上げられた景色を、これからも大切にしていかなければならないなと思ひました。